

ひとり親家庭アンケートの結果概要について

1 調査目的

特に生活困窮の割合が高い「ひとり親家庭」の現状やニーズを把握するため、主にひとり親家庭に支給している児童扶養手当(※)の受給資格者を対象としたアンケート調査を実施

※「児童扶養手当」は、父母の離婚・父または母の死亡等によって、ひとり親家庭で養育される児童について手当を支給する制度。支給には所得制限有り。

2 調査方法等

- (1) 対象世帯 西脇市内の児童扶養手当受給資格世帯 407世帯
- (2) 調査期間 平成29年8月1日～平成29年9月25日
- (3) 調査方法 児童扶養手当の現況届発送の際にアンケート用紙を同封し、現況届提出時に回収
- (4) 回収数 321件(回収率:78.9%)
- (5) その他 記名式

3 調査項目

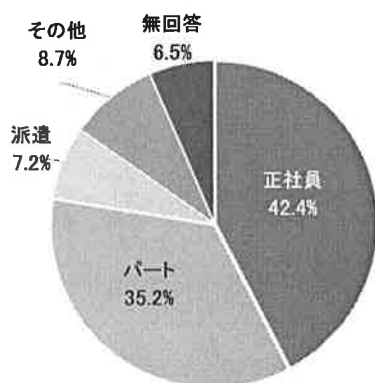
問1-1 働いている親の就業状況	○働き方(正規・パート等) ○社会保険加入の有無 ○今の仕事に満足か。
問1-2 働いていない親の状況	○求職活動について ○生活費について
問2 家計の状況	○現在の状況等
問3・4 「ひとり親家庭等支援制度」利用希望状況	○利用したいものがあるか。 ○知りたいことがあるか。
問5 相談相手の状況	○誰に相談するか。
問6 西脇市の居住理由	○なぜ西脇市を選んだか。
問7 小・中学生のお子さんの食事の状況について	○毎日朝ごはんを食べるか。 ○朝ごはんを食べない理由 ○晩ごはんを誰と食べているか。 等

4. 調査結果概要

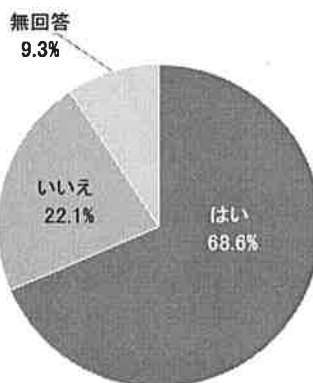
問1-1 働いている親の就業状況

- ・ひとり親家庭の9割以上が就業しており、その内、正規雇用は約4割である。
- ・社会保険には、約7割が加入している。
- ・約6割が現在の仕事に満足している。

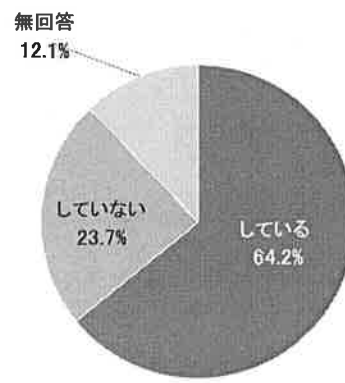
①あなたの働き方は



②社会保険に加入していますか



③今の仕事に満足していますか



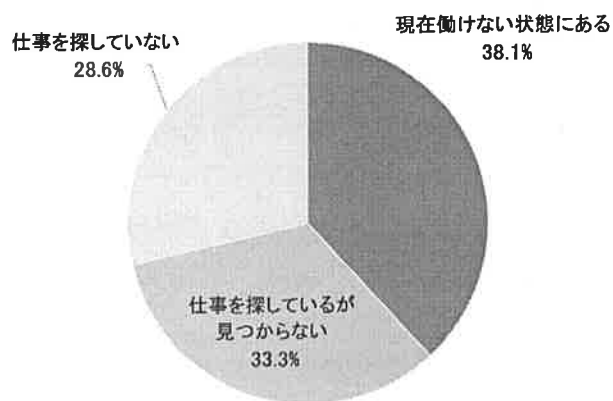
④満足していない理由

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|----------|
| ・給料が安い…35人 | ・就業体制…10人 | ・正社員ではない…8人 | ・職場環境…6人 |
| ・仕事内容…6人 | ・もっと働きたい…3人 | ・休日について…2人 | ・人間関係…1人 |

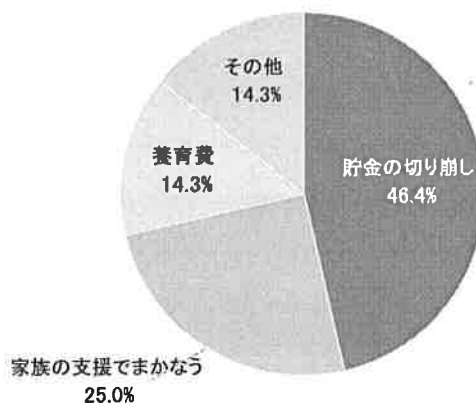
問1-2 働いていない(無職)親の状況

- ・ひとり親家庭の1割未満(6.5%)が無職。
- ・無職の場合の生活費について、約半数の方が貯金を切り崩しながら生計を維持している。

① 求職活動について



② 生活費について



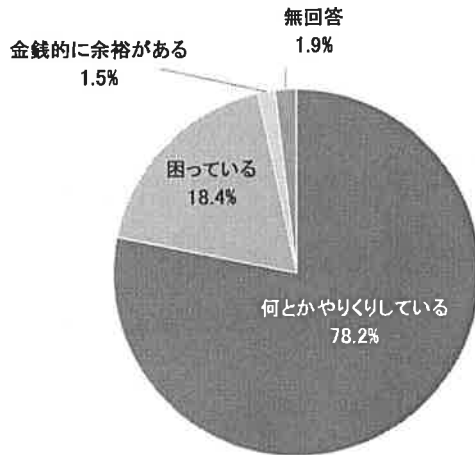
②生活費について その他記述

- ・手当など…2人

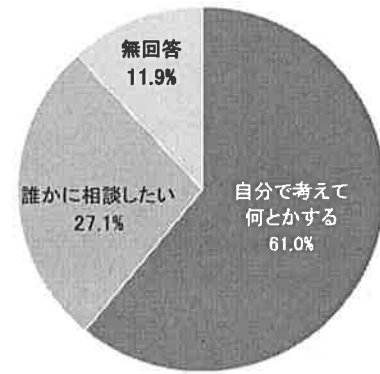
問2 家計の状況

- ・家計については、ひとり親家庭の約8割は「何とかやりくりしている」が、約2割弱が「金銭的に困っている」状況である。
- ・「困っている」と回答した人のうち、「自分で何とかする」が約6割、「誰かに相談したい」が約3割弱である。

① 現在の状況は

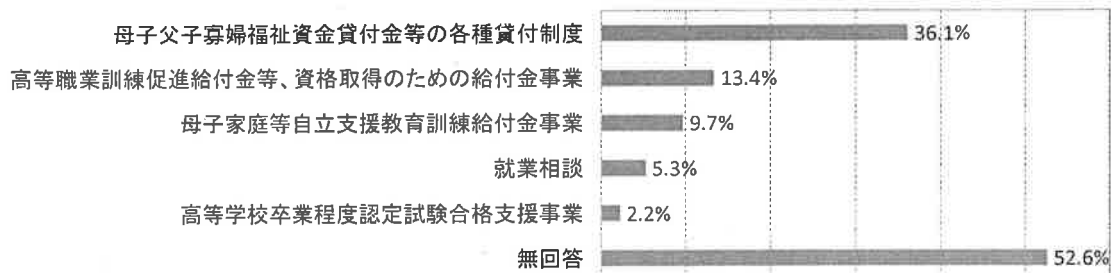


② ①で、「困っている」とお答えの方に、お尋ねします。今後のことについて



問3 「ひとり親家庭等支援制度」利用希望状況

- ・「ひとり親家庭等支援制度」の利用希望状況は、「母子父子福祉資金貸付金等の貸付制度」が最も高く(36.1%)、次いで、資格取得のための給付金事業(13.4%)となっている。
- ・本市で未実施の「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」についても利用希望(2.2%・7人)がある。

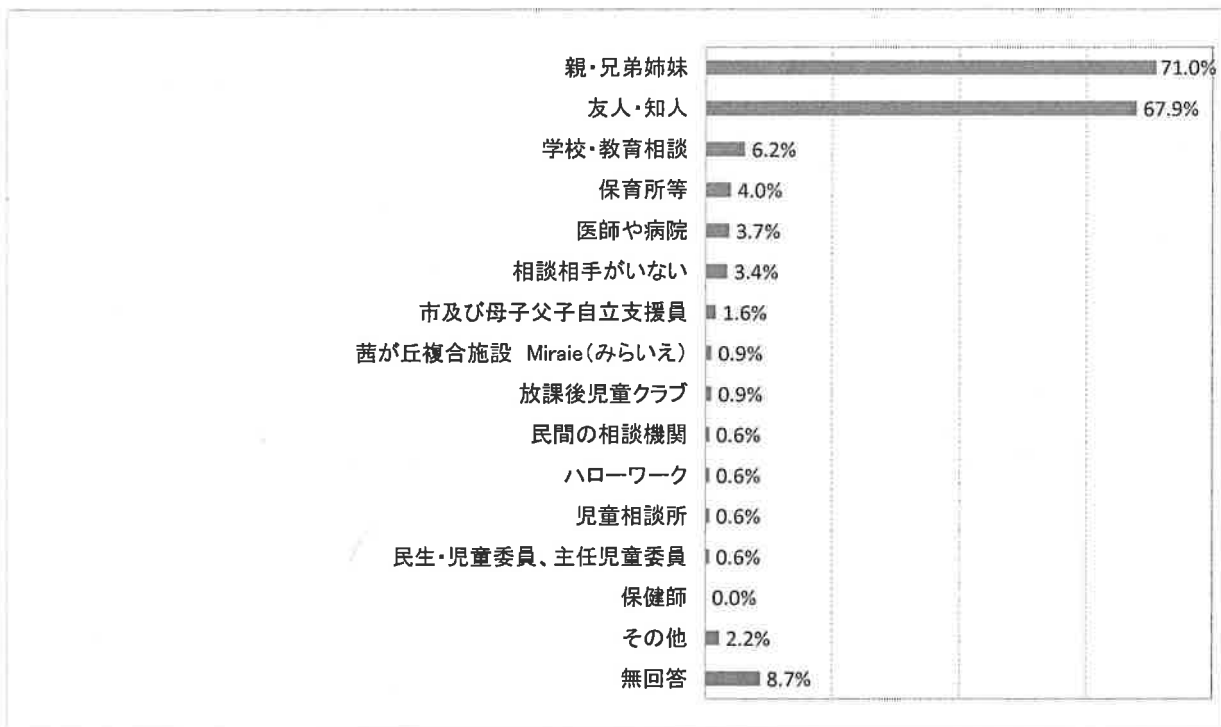


問4 問3の制度について、知りたいことについて自由記述

- ・貸付対象機関や金額の範囲について…2人
- ・資格取得のため進学する期間の生活費について…2人
- ・返済について…1人
- ・制度があることを知らなかった、詳しく知りたい…1人
- ・今の仕事でスキルアップしたい…1人

問5 相談相手の状況

- ・悩んだときの相談相手は、「身内や友人等」が最も多く約7割で、身近に相談相手がいる状況である。
- ・「相談相手がない」が3.4%(前回調査6.5%)となっている。

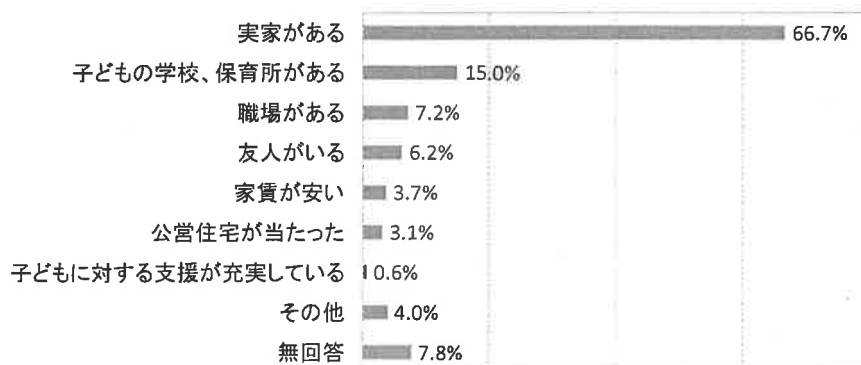


その他の自由意見

- ・子ども…1人
- ・担当の作業療法士さん…1人
- ・同僚…1人

問6 西脇市の居住理由

- ・居住地として西脇市を選んだ理由としては、「実家がある」が66.7%と最も多く、次いで「子どもの学校、認定こども園がある」が15.0%、職場があるが7.2%となっている。
- ・「家賃が安い」や「公営住宅が当たった」等の金銭的な理由は上位ではなかった。



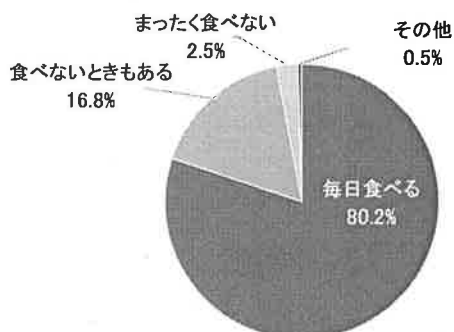
その他の自由意見

- ・持ち家だから…2人
- ・仕方がなく…1人
- ・別れた配偶者の希望で…1人
- ・子どもが生まれたところだから…1人
- ・知人がいない場所を選んだ…1人

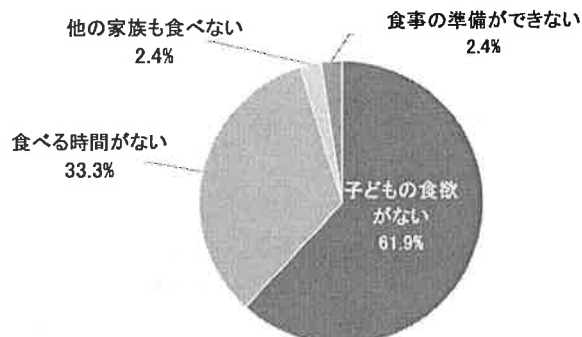
問7 小学生・中学生のお子さんの食事の状況

- ・毎日朝食を食べる状況については、「毎日食べる」が80.2%、「食べないときもある」が16.8%、「まったく食べない」が2.5%である。
- ・朝食を食べない理由については、「子どもの食欲がない」が61.9%、「食べる時間がない」が33.3%である。
- ・夕食時の状況については、大人と一緒に夕食を食べている家庭が90.9%で、一人で食べている家庭は、3.0%(6人)。

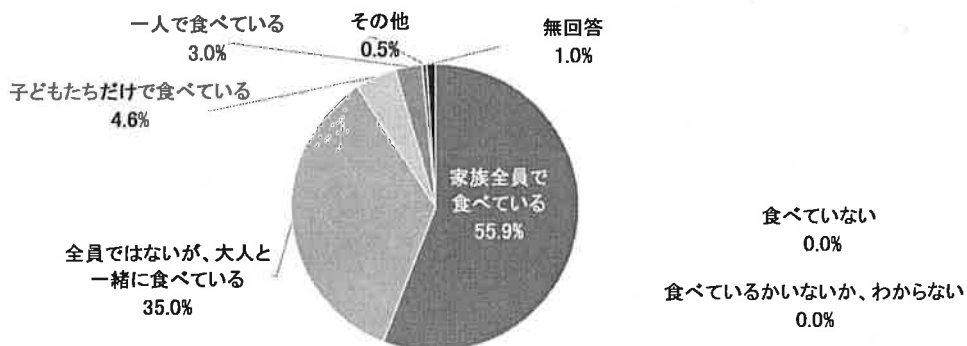
① お子さんは、毎日朝ごはんを食べますか。



② 朝ごはんを食べない理由について。



③ お子さんは、晩ごはんを主に誰と食べていますか。



◎ ひとり親家庭アンケート まとめ

- ・ひとり親家庭の多く(9割以上)が就労しているが、正規雇用は約4割であり、経済的な問題や就業体制、雇用形態に不満を抱えている。
- ・家計の状況については、何とかやりくりしている家庭が8割弱、困っている家庭が2割弱である。
- ・ひとり親家庭の支援制度では、「貸付制度」や「給付金事業」への関心が高く、相談件数も増加している。
- ・本市で未実施の「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」についても利用希望(2.2%:7人)がある。
- ・「相談相手がない」ひとり親の割合が3.4%となっており、前回調査(6.5%)より、3.1%減少した。
- ・ひとり親家庭の「毎日朝食を食べている」割合(80.2%)については、子ども・子育てに関するアンケート(児童手当受給世帯)結果(90.6%)に比べて低い。
- ・夕食時の状況については、ひとり親家庭の内、「大人と一緒に夕食を食べている」割合は90.9%で、子ども・子育てに関するアンケート結果では、94.2%であった。また、ひとり親家庭で、「子ども一人で食べている」割合は3.0%、子ども・子育てに関するアンケート結果では1%であった。

<見えてくる課題等>

- ・経済的な支援が必要な時に、もれなく利用できるような、分かりやすい周知が必要。
- ・安定した雇用につなげていくため、利用希望があった「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」についての事業実施を検討し、ひとり親家庭の自立に向けた支援が必要。
- ・「相談相手がないひとり親」が存在していることから、児童扶養手当現況届提出時には、引き続き、面談やアンケート調査を実施し、個々の家庭が必要とする支援を行うことが必要。